

(別添)

# 昭和大学江東豊洲病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年 10月 策定

**【昭和大学江東豊洲病院の基本情報】**

医療機関名：昭和大学江東豊洲病院

開設主体：学校法人 昭和大学

所在地：東京都江東区豊洲五丁目1番38

許可病床数：309床

（病床の種別）

一般病床

（病床機能別）

高度急性期

稼働病床数：309床

（病床の種別）

一般病床

（病床機能別）

高度急性期

診療科目：

心臓血管外科、循環器内科、消化器外科、消化器内科、内科、外科、脳神経外科、脳神経内科、小児内科、小児外科、産科、婦人科、新生児内科、整形外科、救急科、乳腺外科、形成外科、眼科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、精神科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、歯科、歯科口腔外科

職員数：

- ・ 医師 156名
- ・ 歯科医師 5名
- ・ 看護職員 381名
- ・ 専門職 116名
- ・ 事務職員 29名
- ・ その他 6名

## 【1. 現状と課題】

### ① 構想区域の現状

現在、臨海部を中心とした江東区南部地域は急速に都市開発が進展し、他に例を見ない勢いで人口が急増しており、平成10年と比較すると約5倍に増加しています。また、オフィスの増加などにより昼間人口も急増している日本でも屈指の地域となっております。更に、2020年にはオリンピックが東京で開催される予定で、多くの競技場がこの湾岸地域に集まることや築地市場の豊洲移転など、ますます医療ニーズが増える地域です。

この区南部地域は、東京都全体の傾向と比較すると、高齢化の進みが鈍い地域であり、高齢単独世帯、高齢者のみ夫婦世帯の割合も低い地域でもあります。

このような地域性のなか、入院医療機関の状況としては、高度急性期を担う医療機関が不足している地域であります。

### ② 構想区域の課題

人口が急増している状況下で、江東区南部地域や隣接している地域の住民に、生活の安心・安全を確保するためにも、安定的な医療の提供や医療連携体制の充実が区南部地域に課せられた大きな課題です。安定的な医療の提供の観点からは、現在増加し続けている人口に比して不足している高度医療を提供できる医療機関を充実させることが急務であると考えられます。

### ③ 自施設の現状

当院は地域のニーズや区内の医療資源の実態を踏まえ、区内全体の病床数を鑑み総病床数414床を目標に設立した病院です。基本理念はまごころの医療、安全・安心の医療、地域と連携する医療、医療人の育成です。また、江東区からの要請もあり「女性とこどもにやさしい病院」を具体的な方針として掲げ平成26年3月24日に許可病床300床で開院いたしました。また、土曜・日曜・祝日も平日と同様に診療・検査・定期手術も実施する体制をとっています。

当院は東京都指定二次救急医療機関の指定を受け、救急車の応需率は90%近い値で推移しております。また、周産期連携病院や災害拠点病院の指定を受けており、江東区民にとって重要な医療機関となる体制も整備しています。さらに、平成29年8月29日付で東京都より『地域医療支援病院』の承認を受け、これまで以上に地域の医療機関と連携・協力しながら医療の質とサービスの向上に努めております。

### ④ 自施設の課題

現在、許可病床数は309床で稼働しておりますが、開院当初より予定している414床の全床オープンには至っておりません。安心できる安定した医療を地域住民に提供するためには、早期の全床オープンが必要です。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

区東部医療圏における人口10万人あたりに換算した病院病床総数の数値は東京都全域の平均を下回り、区部の7保健医療圏の中で最下位です。また、他医療圏からの流入患者割合と流出患者割合と比較すると大幅な流出超過となっています。さらに、都民の約70%が自分の住む二次医療圏内で受療行動を完結できているものの、区東部医療圏の完結率は低く、これは東京都全域の割合をも大幅に下回る状況です。

このような状況から、当院は地域の患者ニーズにこたえとともに、迅速かつ柔軟に対応できる体制を構築するために、高度医療を担う全床をオープンすることが急務であります。

② 今後持つべき病床機能

区東部医療圏に高度医療を提供する医療機関の充実を図るため、高度急性期病床機能を持つべきであると考えます。

③ その他見直すべき点

前述している通り、まず第一に現在の許可病床数309床から414床の全床オープンを実現させる必要があります。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	309床	→	414床
急性期			
回復期			
慢性期			
(合計)	309床		414床

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	ICU 6床増床 病診連携の更なる充実	救急車受入れ率増 紹介率・逆紹介率の増加	<p>集中的な検討を促進 2年間程度で</p> <p>第7期 介護保険 事業計画</p> <p>第7次 医療計画</p> <p>第8期 介護保険 事業計画</p>
2018年度	414床 全床オープン 築地市場移転に伴う医療ニ ーズ増加に対する対応 病診連携の更なる充実	救急車受入れ率増 紹介率・逆紹介率の増加	
2019～2020 年度	オリンピック開催に伴う医 療ニーズ増加に対する対応 病診連携の更なる充実	救急車受入れ率増 紹介率・逆紹介率の増加	
2021～2023 年度	病診連携の更なる充実	救急車受入れ率増 紹介率・逆紹介率の増加	

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針> 見直し予定無し

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u> H28年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病床稼働率：94.5%</li> <li>・ 手術室稼働率：82%</li> <li>・ 紹介率：87.9%</li> <li>・ 逆紹介率47.5%</li> </ul> <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費率：45.0%</li> <li>・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：</li> </ul> <p>その他：</p>
---

\* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】  
(自由記載)

<p>特記事項無し</p>
---------------